



さ る ま



女性消防団員誕生！

4月1日、女性消防団員の入団式が行われました。女性団員の入団ははじめてで予防啓発活動・防災活動などを中心に活躍することになります。

新しい制服に身を包んだ10名の団員は、新入団員とは思えないきびきびした動作で式典に参加、火災ゼロに向け決意を新たにしていました。

1996

4

No.462

次代に引き継ぐことのできる 魅力ある『郷土』の建設

平成8年度町政執行方針



平成八年度予算案を提出するに当たり、町政執行の所信と予算の概要を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

ご承知のとおり、私は町民の皆様から支持をいただき町長として町政の執行を委ねられた期間は、二期目がスタートいたしました平成四年九月十二日から今年の九月十一日迄であります。

したがって、平成八年度にお

ける予算全般について提案させていただくことは適切ではないと思いますが、改選時期が九月で既に年度半ばであること、更に経常経費の予算化は必要であり、事業費につきましても継続事業はもとより、新規事業にあつても数年前から計画的に国や道に対し強く要請していた事業が大半であります。

したがって、この三月の定例議会に、平成八年度における全体予算を計上させていただくことのご理

解をお願いするところであります。

只今申し上げましたとおり私の任期は本年九月を以て満了となりますが、この間、本町にとつて開基百年記念事業の諸行事を始め、百年広場・多目的複合施設スターの完成、肉牛肥育センター、農業技術センター、ホタテウロ処理施設の完成、中山間地域農村活性化事業、資源活用型林業構造改善事業等の導入など大変大きな事業に取り組むことができ、いづれもそれぞれの目的のために活用されていることは、これも偏に議員各位、多くの関係者、町民の皆様のご協力の賜であります。

私も全精力を投入し、完全燃焼で町政を執行できましたことを心より感謝とお礼を申し上げる次第であります。

ついでには、この時期に私の身上進退を明らかにすることは時期早尚かと存じますが、残された九月までの任期中は無論のこと、全身全霊を尽くして参る所存であります。現在まで取り組んで参りました数々の継続事業、更には計画中の事業等の実現と佐呂間町の豊かな未来と創造

のためにも、再度勇気と情熱を持つて、町民の皆様に審判を仰ぐ所存であります。

さて、昨年は本町にとりましては、二世紀へのスタートの年と大いに期待をした年でありましたが、一月の阪神淡路大震災を始め、非人道的なオウム真理教による数々の事件や国の内外における金融機関の信用の失墜、フランス・中国の核実験、北海道庁の不祥事、更に住専問題等余りにも暗いニュースのみが印象に残った一年でありました。

本町におきましては、予定しておりました事業を町民の皆様のご協力により満度に行うことができたが、本町基幹産業の中核となつております農業において、特に麦類の収穫期にかつて例のない低温、長雨の影響により作付面積の千五百ヘクタール総て穂発芽する最悪の事態を生じたことは、誠に残念なことでありました。

このことは天災とはいえ、本町農業における基盤整備や栽培技術の不備を反省させられた年でもありました。

平成八年度町政執行の基本的方針

平成八年は新年早々、村山政権から橋本政権へとバトンタッチがされたところであり、自・社・さきがけ

による連立政権には変わりがありませんが、国会開会と同時に住専問題に審議が集中し、その全容が明らか

になるにつれ国民の関心は強く、国会解散も一触即発の感があり、いつ総選挙が行われても不思議ではない状況にあります。

しかし、どのような状況にあつても、本町の基幹産業が決して後退することのないよう、更に、教育、福祉面においてもきめ細かな配慮を怠ることなく、誰からも納得のしていただける町政執行に向け、最大限の努力をして参る所存であります。

なかでも、本町の基幹産業の中核を担っている農業におきましては、確かに厳しい局面がたくさんありますが、近い将来を考えましても、世界が今大きな人口問題を抱えていること、更に地球規模で環境が破壊されつつあることから、食糧不足の時代は国際的な問題として必ずやってくるものと予想されます。

日本の食糧基地を自負している北海道、その一翼を担っている佐呂間町としても、夢と希望の持てるよう農業対策には力を入れて参ります。幸にも、昨年からガット対策が具体的な施策として、負債対策を中心に取り組まれております。

町としても、今年はこの厳しい状況を踏まえ、町単独による負債対策を講じ、農業者の方々に営農意欲を高めていただきたいと期待しております。

更に、道においては、今年度から農業の基本であります『土づくり』

『基盤整備』を進めるべく、二十一世紀高生産基盤整備促進対策事業の導入により、受益者負担五％に軽減する特別措置が講ぜられます。

本事業においては、市町村の一定率以上の負担が条件とされ町単独の財政的支援もかなりの額になるかと思いますが、このことは必ずや生産高で還元してくるものと確信しております。

なお、この施策はガット対策期間の平成十二年までの期限付きであり、今年はその元年であります。農協とも充分にコンセンサスをとりながら積極的に取り組む所存であります。

また、その他、中山間事業や山村振興事業を活用し、道路整備はもとより、物産館、保育所、地域公民館、体育施設、農村公園、産業廃棄物処理場、地域給食等々かなり広範な事業が農業サイドの補助率の高い事業で対応できる状況にありますので、これらの事業を積極的に取り入れ、生産基盤、生活基盤の整備更には教育、福祉面の充実をも図るべく努めて参りたいと考えております。

一月末には、永年の懸案でありました物産振興会が独立した組織として設立されました。平成九年には完成が予定されております物産館と併せ、今後、本町の商工観光の振興に寄与するべく、今年はその充実に向け事業内容を充分詰めて参りたいと考えております。

本年度は、只今申し上げた農業サイドの事業をより広く活用し、地域の活性化に努めるとともに、第二期総合計画の中に挙げられているそれ

ぞれの課題への取組みに向けて、内容の検討協議と研究を深め、年次的に具現化するべく準備を進めて参りたいと考えております。

国・道の事業等各々の事業

国が行う事業としては、国道三三三号線旭峠トンネル工事と第四種サロマ湖漁港整備事業に関連する第一湖口の防水施設整備事業が継続事業として施工されます。

また、新規事業としては、国道二三八号線富武士地区交差点改良工事の調査設計が進められます。

道費事業関係は、道路改修では、道々留辺蘂浜佐呂間線とキムアネツプ浜佐呂間線の五地区で道路と橋梁の改修工事が、仁倉端野線の交通安全施設整備が継続事業として施工され、新規事業として道々留辺蘂浜佐呂間線若佐市街地区道路改良工事が着手される予定であります。

河川関係では、サロマベツ川河川改修工事が、仁倉、知来、佐呂間市街の三地区で引き続き施工されます。

また新規事業として、西興生沢川砂防ダム工事の計画が行われます。

水産関係では、新規事業としてサロマ湖第二湖口防水施設整備事業の調査設計が、更に第九次富武士漁港修築工事が継続施工されます。

土地改良事業では、道営畑総事業が三地区、道営草地整備事業、中山間地域農村活性化事業佐呂間地区、農道整備事業、伊岐武士水質保全事業、ふるさと農道特別対策事業が継続事業として実施され、更に新規事業は、中山間地域総合整備事業若佐地区が採択になり事業に着手する予定であります。

本年度は、平成七年度繰越明許事業も含めて総事業費約二十九億四千万円の事業が実施される予定であります。

新年度予算編成の基本的な考え方

平成八年度予算編成に当たり、景気の低迷が恒常的に続く経済情勢の下で地方財政は多くの課題を抱え、

自主財源が伸び悩み、依存財源に頼らざるを得ないことは、従来にも増して極めて厳しい財政事情にあります。

す。

本町としては、中期的な財政計画に基づき、経常経費、殊に営繕の経費の節減に極力努め、効率的な行政運営と公共施設の計画的、効率的な運用に配慮して参りたいと考えております。

また、投資的経費については、地

方財政計画の指針に基づき、第二期総合計画を基本として、継続事業は道営土地改良事業と公共下水道事業を柱に計画的に進めるとともに、新規事業については高率補助と財政措置のある制度を活用した事業を実施して参りたいと考えております。

豊かな心に調和する住みよいまちづくり

美しい自然環境と豊かな生産資源に恵まれた郷土の建設は、住民の意志に基づき、住民自らの手によってつくり出されていくものであり、町政は住民の活力に満ちた行動と参加によって築かれるものであります。

住民の地域活動を通じた連帯と相互扶助の精神に基づき、自治会活動を中心にコミュニティ活動の推進を図り、住民参加による町政を進めて参ります。

一、ふるさとまちづくり振興基金の運用を検討して『人づくり』『まちおこし』の推進を図りたいと思います。

二、国際化時代に対応した町民による国際交流を推進するため、地域国際ボランティア団体とも協調した活動の展開を進める一方、アラスカ州パーマ市との姉妹都市交流も十六年目を迎え、児童・生徒による交流はもとより、民間レベル

による住民同士の交流にも多くの町民の参加を求め、交流の輪を広め事業の促進を図りたいと思います。

三、情報化時代のメカニズムの進展は目ざましいものがありマルチメディアは、広く一般大衆化の方向にあり、その内容は国内はもとより国際的な交信の時代を迎えており、このような情報網を活用した情報の受発信は、地域活性化の手段となりつつあります。

本町もオホーツクインターネット構想に基づく機構に参画し、町の活性化とまちづくりに活用して参りたいと思います。

快適で美しい生活環境づくり

本町は、雄大で緑豊かな森林やサロマ湖の美しい景観に恵まれた自然条件を有しており、この恵まれた環境を守り、自然と調和のとれた潤いのある生活を創造していくことが必要です。

このため自然と社会生活と産業活動を支えるための安全性と利便性の高い交通網、公共道路網の整備を図るとともに下水道、ごみ処理などの日常生活に直結した生活環境整備の充実を図り、安全で住みよく快適な生活環境づくりを進めて参ります。

一、住民の生活、生産活動の基盤となる道路交通網の整備は、モータ



リゼーション時代の今日、必要不可欠なものであり、年次計画により町道及び農道整備は逐年改良、舗装化が進められております。

本年も町道朝日武士十二線道路や若里北幹線道路等の改良舗装工事が進められる一方、道営土地改良事業では、北五線道路他十八路線で約一万三千七百メートルの改良と約七千三百メートルの舗装が施工されます。

二、公共下水道整備事業は、佐呂間市街を事業区域として一昨年着工し、管渠布設工事も順調に進んでおります。

一方、昨年着工した終末処理施設事業もいよいよ電気機械設備の工事が始まり、平成十年の供用開始に向けて本格的に事業が推進されます。

また、今年からは各家庭への引込管渠工事等の計画について、受益地区住民との協議を行い準備を進めて参ります。



三、住宅対策として西富公営住宅団地の建設が完了いたしましたので、新たに宮前公営住宅団地の建替計画について具体的な基本設計を進めて参ります。

四、テレビジョン難視聴解消対策については、一昨年、若佐、佐呂間テレビジョン中継局の開設で概ね解消されましたが、まだ一部地域的に難視聴の区域がありますので、これらの難視聴解消対策の促進に努めて参ります。

五、ごみ処理対策としては、昨年から計画を進めて参りました産業廃棄物処理と粗大ごみ処理施設の建設計画について、地域住民の理解を得ながら具体的な調査設計を行い、平成九年度完成を目途に事業計画をすすめて参りたいと思います。

六、西富公住自治会が建設を進めております公民館建設事業についても、地域住民のコミュニティ活動の拠点施設として利用が図られるよう支援をして参ります。

やすらぎと思いやりのある福祉と健康づくり

高齢化社会に対応した福祉行政は在宅福祉重視の方向に展開されておりますが、町としても高齢者保健福祉計画に基づき、住民誰もが安心して生活できる地域の健康福祉づくり

を目指して事業を推進いたしたいと思えます。

一、社会福祉協議会を核とした民間福祉活動を促し、住民ボランティア活動が積極的に展開されますよう

う期待するとともに福祉事業基金の有効活用を図り、福祉活動の推進に支援して参ります。また、老人と同様に身体障害者の居室整備資金の貸付制度を設け支援して参りたいと思えます。

更に、虚弱老人を対象とした入所施設として、ケア・ハウスの建設計画と民間運営組織の準備を進めて参りたいと思えます。

二、へき地保育所は、農漁村地域の労働力の確保と幼児の健全な保育を進めるため通年保育化を進めておりますが、今年は富武士保育所の改築計画を進め、通年保育を実施する予定であります。

三、町民の健康づくりは食生活の改善と疾病の早期発見、早期治療にあります。

今や町民の総医療費は概ね二十億円を超えるものとなっており、健康で明るい家庭生活は町民の願いであります。

したがって、住民検診に



よる疾病の早期発見と早期治療、食生活改善の指導に重点を置き、町内医療機関の協力を得て、町民の健康保持と医療費の通減に努めて参ります。

更に、保健婦、栄養士による指導体制の充実強化を図り、町内各地区において保健事業を実施し、多くの住民の参加を得て、健康で明るい家庭づくりを推進して参りたいと思えます。

調和のとれた活力ある産業の振興

農業施設については、ウルグアイ・ラウンド農業交渉の受諾により農畜産物の輸入自由化が認められ、厳

しい国際競争の渦中で対応を余儀なくされており、加えて四年連続の低温・長雨被害により畑作物の著しい

減収に伴い、農家負担が増積し、経営を圧迫し不安定な事態に直面しており、毎年離農が相次いでおります。このような事態を打開し、農家経営の安定化を図るため、国や道に対して農業施設の転換と国際競争に対応できるよう長期にわたる農業ビジョンの確立を強く求めて参りたいと考えております。

一方、このような事態を重視して農家の負債対策と農業の安定した経営方策を農業関係団体と協議し、最も効果的な施策の推進を図りたいと考えております。

また、農家自らの経営意欲を高め生産性向上を図るため、経営基盤の充実、安定化が急務とされており、土地基盤の整備と堆肥を活用した『土づくり』を推奨していくとともに農業後継者の確保と育成も重要課題として認識し、将来、農業に希望を持って従事できるような環境づくりを推進したいと思っております。

特に基盤整備事業（面事業）に対する農家負担軽減対策が本年度から平成十二年までの五か年間にわたり道と町によって実施されますので、農家の積極的な事業取組みによる土地基盤の充実と農村環境整備の事業促進を図りたいと考えております。

このために、道営土地改良事業に重点を置き、土地基盤の整備を進めるため畑総事業三地区、草地整備事業など十三地区で継続事業を進める一方、新規事業として中山間地域総合整備事業若佐地区が採択されて、農村公園整備事業等が進められます。

町の事業として、山村振興等農漁村特別対策事業が採択され、本年度から高齢者活動促進事業（富武士保育所）、環境保全施設（産業廃棄物処理場）、多目的交流促進施設等の整備が継続事業として実施されます。

林業については、国有林をはじめ国産素材の生産量の減少と

経済不況による木材消費量の減少が林業経営に多大な影響を与えており、林産業においても外材輸入の増加と為替レートの影響により、パルプ材をはじめ、製品の販路の確保が極めて困難な事態となり厳しい経営を強いられております。しかし、地域林業の振興と自然環境を保全するためには、森林を守り育てることは重要な課題であり、国に対し森林交付税制度の創設を求め、森林の育成と林業労働者の育成確保は山元の自治体に委ねるよう財政支援を強く要望して参りたいと思っております。

また、地区林産協同組合や森林組合、更には林業関係の企業体と諮り、長期展望に立った総合的な林産加工産業の整備計画を進め、経営の合理化を進めながら地域林業及び林産業の振興を支援して参ります。

漁業及び水産業は、ホタテ養殖事業を核として、漁業関係者の努力により安定した経営が続けられておりますが、最近の傾向として生産量は安定し好漁であります。経済不況と円高等の影響により価格が低迷して総生産額が伸び悩んでおります。

このような情勢に対処して、生産物の付加価値を高めるための加工技術の開発や加工関連施設の整備を進



めて参りましたが、本年度で事業が完了し本格的な操業が開始されます。

また、新しい漁場整備として、アサリ養殖漁場の整備開発が進められこれらは順調に推移し収穫期が期待されており、将来的な事業化に向けより一層の努力と漁家経営の健全化を図り新しい販路の開拓、拡大に期待をするものであります。

商工業については、定住人口の減少と経済状況の低迷、更には近隣市町村への大型店舗の進出によって購買力の流出、減少が深刻な問題となっており、商工会員による必死の町内購買運動もあまり効を為さず売上

額は減少の一途を辿って、非常に厳しい経営状況となっております。

このような事態を直視し抜本的な商店街の活性化対策が必要であり、社会的、経済的背景に立脚した振興策を商工会、関係団体と検討し、既存企業・商店の振興対策を積極的に支援して参りたいと考えております。

また、今年から商業経営改善資金の融資枠を拡大し、限度額の引き上げを行うことにより、商店施設改善策に支援することになりました。

更に第一次産業と共存し、資源を活用した地場産品の開発振興を図るため、佐呂間町物産振興会を本年四月から発足させ、町内関連企業の協力を得て新しい消流販路の開拓、都市・地域、異業種間の交流促進を通じて、地場産品を広く全国にPRし、地場商工業の活性化を推進したいと考えております。

観光開発は、サロマ湖の自然と味覚を求めて来

遊する観光客も多く、美しい環境と調和した観光開発が注目されており、地場産業と整合性のある観光開発を進めるための拠点施設として、物産館の建設を計画し、町民の参画と協力を得て、新しい産業を興し、一昨年開館した悠林館と新しい体験農園など観光ゾーンの開発を進め、事業の促進を図りたいと思います。



豊かな人間性と文化を育てる教育の推進

佐呂間町民憲章を基に昨年は佐呂間町教育目標が制定され、本年新た

に社会教育目標が定められ、これを指標として健やかにゆとりと活力に

満ちた生涯を過ごしたいという町民共通の願いをもとに、佐呂間町にふさわしい生涯学習社会の実現に努めて参ります。

学校教育については、その発達段階に応じた生活環境の中で心豊かであくましく生きる力を養い、家庭・地域・学校との連携に努め、健全な心身の発育を助長し、未来に大きく飛躍する児童・生徒の育成に努めるとともに、学校教育施設等の整備充実を図ります。

学校給食については、高齢化が進む時代的社會構造の中で、将来展望

その他について

消防救急体制については、署員の三部勤務体制に対応した勤務環境の整備を図るため、消防庁舎の改築計画を進め実施して参りたいと思います。

更に、消防施設の充実強化を図り住民の緊急要請に即応できる施設体制の充実に努めたいと考えております。

職員の資質の向上を図り、住民への一層のサービスに努めるため、今年も職員研修の窓口を広げ、国内、海外視察はもとより昨年に引き続き道派遣職員として一年間の研修を計画しております。

と財政的な動向を思料いたし、学校給食と福祉給食の整合性に着目し、更に地場生産の食材活用も考慮した中で幅広い地域給食として実施することを前提に積極的に検討を進めます。

社会教育については、文化・スポーツを通じて「生きがい」を創造し豊かな地域と人づくり」を目指した学習を町民の理解と協力を得て推進するとともに、社会教育施設の整備充実と施設の有効活用を積極的に進め、町民参加によるスポーツ、文化活動の振興を図ります。

町政の執行に当たり常に公正、公平を旨として住民本位の行政運営に徹し、職員には公務員としてのモラルを充分自覚の上、住民より疑惑を招くような行為は厳に戒め、資質の向上と研鑽を図り、真に住民の福祉増進と生活の安定向上に努め、豊かさゆとりを実感できる住みよいまちづくりに精進し、佐呂間町の二世紀に向けて町民が誇りと確信を持つて次代に引き継ぐことのできる魅力ある『郷土』の建設を町民と共に実現して参る決意であります。

調和のとれた文化的香りの高いまちづくり

生涯学習社会の実現に向けて



もち多様な個性を發揮し、心身ともに充実する自己実現を図ることのできる生涯学習社会を目指していかねばなりません。このため、学校教育においては、生涯学習の基礎を培う観点に立ち基礎的、基本的な指導の徹底はもとより個性を尊重し、社会の変化に対応できる心豊かな児童生徒の育成が大切であり、社会教育においては、幼児から高齢者にとつた総ての町民が、生き生きと学び続けられる学習環境を整備することが大切であります。

新たな平成八年度は二十一世紀の鼓動がより大きく間近に迫り、社会の変化は益々目まぐるしく、かつ様々な場面において激しく多様化、高度化することが予測される大きな転換期を迎えております。このような未来社会に向かって、町民一人ひとりが潤いと生きがい

こうした社会環境のもとにあつて佐呂間町教育目標の具現化に向けサロマの自然や歴史、文化を踏まえ、それぞれの地域特性を生かしながら楽しく、ともに学び、ともに語り合う調和のとれた文化的香りの高いまちづくり、人づくりを基本とした生涯学習社会の実現に向け家庭、学校、地域社会が一体になり、学校教育、社会教育、社会体育の充実、振興のため万全を期して参りたいと考えております。

平成八年度の教育行政推進に当たっては、本町の第二期総合計画、更に、第三次社会教育中期計画を踏まえ、町内諸機関、団体との連携に配慮し、それぞれがもつ機能の調和を図りつつ次に掲げる三点を重点目標といたします。

一、児童生徒が主体的、創造的に生きる資質や能力を伸ばし、個性を生かした豊かな心と意欲を育てる学校教育の推進とそのための基盤整備
二、豊かな心を育む文化活動や健康

学校教育の充実について

学校教育の充実には教職員の愛と情熱、そしてその資質に負うところが大きいです。更に、今日的課題は従来の知識、技能のみでなく、社会の変化に的確に対応しうる心豊かであつたまじしい人間の育成であり、このためには自らが主体的に考え行動できる能力、判断力、思考力に加え、個性の尊重などを重視する新しい観点にたつて、知、情、意、体の調和のとれた児童生徒の育成に努めていかなければなりません。

これらの目標達成のため、本町にあつては、全教職員で構成する佐呂間町学校運営協議会が活動しており指定研究はもとより各サークルでの研究活動、学童陸上記録会の開催、

的で潤いのある生活を目指すスポーツ活動の推進とそのための基盤整備

三、町民が生涯を通じてその個性や創造性を伸ばし、自己実現を図ることのできる生涯学習社会の実現とそのための基盤整備

これら三点の重点項目の具現化に努め、町民一人ひとりが生活に潤いと生きがいを実感することができ、地域社会を実現するため、佐呂間町教育行政の諸施策推進に万全を期して参る所存であります。

(1) 幼稚園教育について

児童生徒の文集の発行など佐呂間町の学校教育の充実、発展のため活発な研修や教育活動が行われております。その教職員のたゆまぬ努力と情熱に対し感謝の意を表すとともに、これら組織の充実のため積極的に援助を行ない、温かい心のふれあいを大切にし、「自らを律する心を育てる学校」「この学校だからできる」このような特色をもった佐呂間町の教育の充実に向けて参ります。

幼稚園教育は、その発達段階に適した生活環境のなかで、一人ひとりの幼児が遊びや体験を通して、基本的な生活習慣や心豊かでたくましく生

きる力の基礎を培う保育に努めなければなりません。そのためには、人と自然などのかかわりを大切にするとともに、保育所、小学校、家庭との連携を図り、幼児期にふさわしい生活体験ができる総合的な保育の推進、充実に努めて参ります。

(2) 義務教育について

地域の自然や特性を生かした教育活動を通して、地域住民の期待に応え、サロマの未来を拓くたくましく心豊かな児童生徒の育成に努めなければなりません。そのためには、従来の教える教育から自ら学ぶ教育への質的転換を進めるとともに、地域の恵まれた自然や文化、歴史などを積極的に活用する創意あふれた教育活動を通して、児童生徒の豊かな心や実践力の育成、指導方法の改善はもとより個を重視した教育、体験を重視した教育等の推進や研修活動の充実と教育課程の適切な編成を指導して参ります。

また、本町には地域の過疎化や小・子化に伴い小規模、複式校が多くを占めています。それぞれの学校においては、たゆまぬ研鑽と努力によって地域特性を生かした特色ある学校経営が展開されていますが、集合学習、交流学习等を通じた複式教育の充実に向け支援して参ります。

次に、学校週五日制については、月二回の制度が定着してきておりま

すが、この趣旨は申し上げるまでもなく親子のふれあいや子ども自身のゆとりを取り戻し、家庭や地域が一体となって様々な体験や学習を通じて、これからの時代に生きるために必要とする資質や能力を身につけさせることであります。そのために学校が、地域、児童生徒及び住民にとっても日常生活に密着した最も身近な共同の施設であることを理解し、家庭、地域、学校が一体となってそれぞれの教育機能を発揮できるよう学校開放はもとより、各種社会教育施設の有効利用など、その環境づくりに努めて参ります。

また、幌岩中学校の統合については、今年度も地域及び父母の理解を得るべく努力を重ねて参ります。

更に、佐呂間高校の間口削減への取り組みについてであります。平成八年度公立高校適正配置計画に条件付き学級削減対象校として盛り込まれているところであります。中卒者は、減少傾向にあるものこの当分の間現行二間口の確保は可能であるとの認識にたっており、「佐呂間高等学校定員確保対策会議」等とも十分協議を行い適切に対応して参ります。

● 学習指導について

生涯学習の基礎を培う観点にたち、総ての児童生徒に基礎、基本を定着させ学ぶことの楽しさを通して成就感、満足感を味あわせ、

自ら学ぶ意欲を育てる指導が大切であります。そのためには、指導方法の工夫に努めることは勿論、教材教具の精選、地域の特性や教育課題、児童生徒の実態に即した適正かつ柔軟で創意あふれる教育課程編成の指導を図り、児童生徒一人ひとりの生き方や考え方に十分配慮する学習指導の充実に努めて参ります。

● 児童生徒指導について

児童生徒指導の大きな課題として「いじめ」や「不登校」等が全国的な問題となっている今日、学校教育においては人間尊重や生命に対する畏敬の念、他人を思いやる心、また、強い意志や実践する力の育成とともに、自然を愛し、美しいものに感動する心を育てることが最も大切なことであります。

そのためには、「社会で許されない行為は、子どもの世界でも許されない」という認識にたっており、いじめなどの未然防止に努め人間尊重の基本的視点からの教育活動の展開、問題行動に適切かつ迅速に対応できる体制確立のため、家庭及び地域社会並びに関係機関、団体との連携をより積極的に推進して参ります。また学校生活で様々な悩みをもつ児童生徒、父母などに対応していくための教育相談体制の充実に努めて参ります。

● 特殊教育について

心身に障害をもつ児童生徒の教育については、従来からもその教育の充実に努めてきているところでありますが、これからも一人ひとりの障害の状態や発達段階に十分配慮し、交流学习等を積極的に取り入れ自立心の育成を図り、家庭、関係機関との連携による特殊教育の充実に努めて参ります。

● 健康安全教育について

児童生徒の健康安全教育については、各学校においてきめ細やかな指導がなされているところでありますが、生活環境の急激な変化に伴って児童生徒の心身の健康について、様々な問題が生じている今日の課題を踏まえ、進んで健康や安全の保持に努める習慣を身につけるよう指導するとともに、生涯を通じて健康で安全な生活を送



るため、家庭や地域社会との連携を図りながら基本的生活習慣の定着に努めて参ります。

(3) 国際理解教育について

これからもより進展するであろう国際化社会に対応し得る国際感覚を身につけた児童生徒の育成のため、

パーマ市との姉妹都市交流を基礎とした小学校の姉妹校交流に加え、中学校における姉妹校提携を検討し、国際理解教育の充実を図る意味でも外国人英語指導助手については、本年度も引き続き招致し英語教育の充実に努めて参ります。

社会教育の充実について

人生八十年の時代を迎え生涯学習社会といわれる今日、町民各階層の多様化、専門化する学習要求に応え、生きがいを創造し、心豊かな地域社会づくりのために社会教育が果たす役割により多くの期待が寄せられております。

佐呂間町教育目標「自ら学び、い



きがいをもち、ふるさとを愛する、サロマ人」の制定を受け、昨年度佐呂間町社会教育中期計画策定委員会より今日の時代要求を踏まえた人づくりの指標となる佐呂間町社会教育目標の答申を受けました。それは、『人々を 地域を 夢を育む サロマの未来』であります。

この目標は、本年度から始まる第三次佐呂間町社会教育中期計画の基本的目標として位置づけられているものであり、これを踏まえ町民がもつ課題解決や自己啓発に努める知識や能力を培い、町民相互の連帯感を深めるなど心の豊かさを実感できる社会教育の推進が課題であります。

そのためには、社会環境の変化に伴い、学習活動や社会参加の関心が高まっていることから、学習機会の拡充や学習参加の奨励、学習情報の提供、指導者の発掘養成が急務であり、教育と福祉の連携はもとより社

会教育諸団体、青少年団体の育成援助に意を配して効果的な事業の展開に努めて参ります。

(1) 乳幼児教育について

人間形成の上で最も大切な時期であり、育児やしつけに関し、家庭が本来の教育機能を発揮できる情報の提供はもとより町部局等とも連携を密にし、学習機会や相談体制の充実推進に努めて参ります。

(2) 青少年教育について

佐呂間町の二世紀を担う心豊かでたくましい青少年の育成は、明日のまちづくりにとって不可欠なものであり、集団活動、体験活動を通して望ましい人格形成のため、各種体験的学習機会の提供、リーダー養成をはじめ、地域子ども会の育成、スポーツ少年団への支援、芸術・文化の鑑賞機会の提供等を通して郷土や自然を愛し、たくましく豊かな心を育む青少年教育の推進に努めて参ります。

(3) 成人婦人教育について

多様化した社会機構や価値観の変化する時代にあつて、職場、地域社会においてまちづくりの中心的役割を担う大切な立場にあり、また学習の必要性を感じながらも実態として積極的活動が制限される現況が課題



となつている成人婦人教育は、今後それぞれのライフサイクルをも視点に入れた自己実現や生活課題、地域課題解決のために、体系的、多様な学習機会の提供を推進し、自己啓発を図る地域学習サークルの育成やその活動に対して積極的な支援に努めて参ります。

(4) 高齢者教育について

佐呂間町においても、少子化とともに高齢化社会がより進行している現況にあります。高齢者が生きがいのある生活を送り、豊富な人生経験に基づく知識や技能を生かしての社会参加等の奨励を図るほか、学習活動の場としての寿大学の通年化を検討するとともに高齢者講座の開設に努めて参ります。

教育行政推進方針

(5) 芸術文化について



物から心の豊かさへ、量から質へと社会情勢の変化する中であって、余暇時間の増加とともに文化活動への取り組みが活発化しており、自らが芸術活動に親しみ、優れた芸術・文化の鑑賞機会や発表の機会が求められています。

そのために今年度は、佐呂間町文化連盟創立三十周年記念総合文化祭や記念公演として企画しております。創作劇等について、財政援助を行い舞台芸術の灯を育てるとともに、道立近代美術館所蔵作品の移動美術館を招致し、質の高い芸術の鑑賞を通して絵画の魅力や絵画に親しむ機会を提供して参ります。

また、文化活動諸団体の育成、指導、青少年音楽祭などを通して芸術・文化活動の活発化に努めて参ります。

社会体育の充実について

町民のだれもが生涯を通してスポーツに親しみ、自らの健康保持、増進や体力の向上に努め充実した生活を送るとともに、豊かな人間関係を形成し、まちづくりに結びつけていくことが大切であります。

そのために、「生涯スポーツ宣言の町」宣言の浸透を図り、町民皆スポーツのため地域に根ざしたスポーツの振興を図る事業の展開と競技力

向上対策をも含めた学習機会の提供に努めて参ります。今年度、ソフトボール協会による全日本クラブソフトボール選手権大会北海道予選会の招致が決定しており、財政的援助を行うとともにこれらの機会を活用して町技ソフトボールの競技力の向上にも努めて参ります。

また、住民のスポーツ活動の援助者となる指導者の計画的な発掘、養

成を積極的に行うとともに、体育協会、スポーツ少年団等との連携を図



図書館の充実について

生涯学習社会への意識の定着や高度情報化社会の進展、社会構造の変化に伴う余暇時間の増加など益々高まる学習意欲に応えるため図書館の果たす役割は重要であり、氾濫する情報の中から住民の真に必要とする資料の収集、情報の提供や生涯学習を援助する社会的機関としての図書館に寄せる期待は大きなものがあります。

そのためには、住民の生涯学習に役立つ情報センターとしての図書館機能の充実、読書普及活動の推進、奉仕活動の充実、人形劇サークル等ボランティア団体の支援、各学校や地域との連携を図り、情報を的確・

りながらその振興に努めて参ります。



迅速に提供できるようその充実に努めて参ります。



教育行政推進方針



社会の変化や時代の推移、要請に基づき適正かつ迅速な整備充実に努めなければならぬものと考えております。

本町の学校教育諸施設、社会教育諸施設については、逐年その整備拡充を図ってきたところでありますが、

生涯学習推進体制の整備について

幼児から高齢者の総ての町民が、「いつでも、どこでも、だれでも」生き生きと学び続けることのできる生涯学習体系の確立とその推進体制づくりが急務であります。

今年度から始まる第三次社会教育中期計画においても、この体制の確立が求められており、従来から取り組んできた普及啓発を一歩進め、行

教育関係諸施設の整備について

ます。

特に学校給食については、望ましい給食のあり方、その形態等について今日的時代の変遷や社会構造の変化を踏まえ、新しい役割やその可能性について先進地視察等を重ねて参りました。が、実施に当たっては、財政の動向等も考慮しながら新しい学校給食の意義、高齢化社会を視点とした福祉給食、食料調達を通じた地域振興を図るため総合計画に添った実施を前提として前向きに検討を進めて参ります。

(1) 学校教育施設について

学校施設設備等にかかる営繕については、児童生徒の健全育成や快適な教育環境を保障するうえからも大

切なことであり、緊急性、必要性等適切な判断のもと計画性をもちその整備充実に努めて参ります。

特に本年度は、学校開放事業の増加に伴い、学校管理上からも懸案となっていました幌岩小学校屋体増築工事を実施し、佐呂間中学校グランド環境整備事業について、調査・設計を行い実施に向けて検討をして参ります。

また、中学校におけるコンピュータ活用を円滑に進めるため支援機器や関係ソフトについて三年計画で整備もて参ります。

更に、継続事業として校舎の外壁改修、視聴覚設備等の充実に努めるとともに教員住宅については、総合計画に基づき教職員の異動の動向等を見極め建て替えを行うとともに、内部改修についてもその整備に努めて参ります。

(2) 社会教育施設について

社会教育施設等にかかる設備については、町民の学習意欲の助長や健康の保持、増進の観点にたち、安全かつ快適な施設環境の整備に努めて参ります。

そのために生涯学習の拠点となる図書館の暖房設備改修工事、文化・芸術活動の拠点となる町民センター

の維持補修や、かねてから要望のあるスキー場のグレンデ拡張工事とともにナイターの増設を行い、より親しまれ気軽に利用できる施設として整備に努めて参ります。



平成八年度の教育行政推進に当たり主要な方針について申し上げますが、町民各位の負託に応えるため町当局をはじめ各教育機関と町内関係諸団体との信頼関係にたち、佐呂間町の教育、芸術文化、スポーツの振興充実のため教育委員会として最善の努力をして参りたいと考えております。

ここに、町議会議員各位をはじめ教育関係諸機関各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。



佐呂間町消防団に 女性団員入団

4月1日、佐呂間町消防庁舎において町長をはじめ来賓及び消防団幹部が出席して女性消防団員10名の入団式が行なわれました。

鈴木団長が一人ひとりに辞令を交付した後「女性消防団員として女性の優しい思いやりときめ細かさを生かした防火活動、災害時の後方支援活動など広い範囲で活動し、地域防災のため努力してください」と訓示がありました。

入団者を代表して吉野美和子さんが「私たち女性消防団員は、佐呂間町民の奉仕者として良心に従って誠実かつ公平に消防業務の遂行に当たることを固く誓います」と力強く宣誓しました。

今後は火災予防啓発活動、独居老人・老人夫婦世帯の防火指導を中心に活躍することになります。



田中つたえさん
(若佐)



小野真利子さん
(宮前町)



三浦久美子さん
(宮前町)



嘉村 和子さん
(知来)



吉野美知子さん
(幸町)



今部 玲子さん
(富丘)



宮坂 陽子さん
(中園)



斉藤みはるさん
(浜佐呂間)



藤原 厚子さん
(浜佐呂間)



田岡登美子さん
(東)

平成8年度予算

93億5,586万6千円

一般会計 61億7,194万4千円

特別会計 31億8,392万2千円

平成八年度一般会計予算総額六十一億七千九百九十四万四千円と対前年比〇・七二%の減となります。

特別会計は、簡易水道、と場、国民健康保険、老人保健、公共下水道の五会計で、予算総額三十一億八千三百九十二万二千円となり、対前年比十九・三%の増となります。

今、国内情勢は阪神災害対策、不良債権対策等で社会的、経済的情勢

は極めて厳しく、大きく揺れ動いており、経済状況が低迷する中で国家財政も赤字国債に大きく依存する予算編成がなされており、地方財政も極めて厳しい見通しとなっております。

平成八年度の予算編成では、財政の健全な運営に慎重に配慮し財源の確保に努め、町民のニーズに対応した行政を進めて参りたいと思います。

農林水産業費

- ・道営土地改良事業負担金
- ・21世紀高生産性基盤整備促進対策負担金
- ・農業生産体制強化総合推進対策事業費補助金
- ・山村振興等農林漁業特別対策事業
- ・道営中山間地域農村活性化総合整備事業負担金
- ・肉用牛肥育施設費補助金
- ・畜産再編成総合対策事業補助金
- ・牧野パドック内コンクリート舗装工事
- ・町有林整備事業

- ・経営林道興生沢線改良事業
- ・漁港修築事業地元負担金（富武士漁港）
- ・沿岸漁場整備開発事業地元負担金（アサリ漁場造成）

土木費

- ・朝日・武士十二線道路改良工事
- ・朝日・武士十二線道路特改四種工事
- ・朝日・武士十二線道路橋梁整備工事
- ・若里北幹線道路舗装工事
- ・興生沢歩道橋調査設計委託
- ・町営バス待合所新築工事
- ・公営住宅新築工事（宮前団地）調査 設計委託
- ・佐呂間小学校通学路工事

商工費

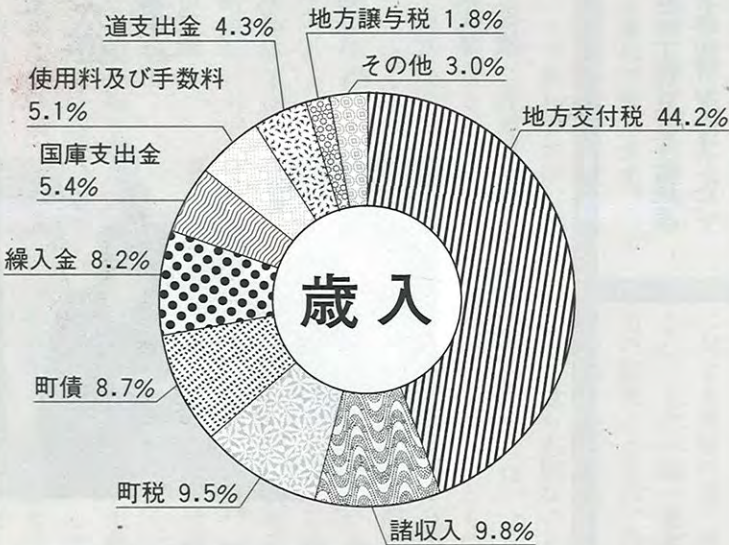
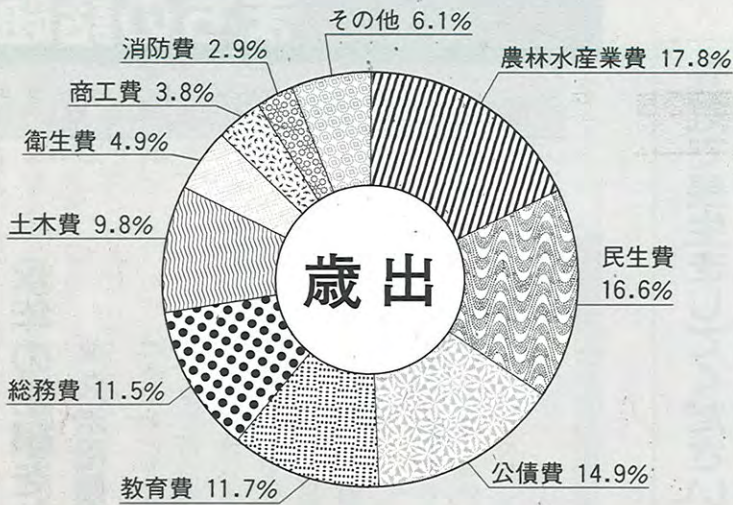
- ・若佐勤労者住宅道路舗装工事
- ・ピラオロ展望台外構工事

簡易水道・下水道

- ・量水器検漏改良工事
- ・検漏改良用量水器
- ・佐呂間簡易水道配水管布設替工事
- ・佐呂間町特定環境保全公共下水道事業

予算の主な事業から

一般会計 61億7,194万 4 千円



特別会計 31億8,392万 2 千円

簡易水道会計	1 億7,275万円
国民健康保険会計	8 億2,614万 3 千円
と場会計	5,721万 3 千円
老人保健会計	9 億7,472万 9 千円
公共下水道会計	11億5,308万 7 千円

教育費

- ・へき地教員宿舍新築工事
- ・教員住宅内部改修工事
- ・浜佐呂間小中学校視聴覚機器設備工事
- ・幌岩小学校屋体増築工事
- ・若佐中学校外壁・屋根塗装防水工事
- ・町民センター屋上防水工事
- ・暖房設備改修工事(図書館及び児童館)

- ・スキー場投光器増設工事

民生・衛生費

- ・特別養護老人ホームベッド購入事業
- ・知来ごみ処理場焼却炉二次燃焼装置取付工事

総務費

- ・西富公住会館建設費補助金
- ・オホーツクインターネット構想事業
- ・トカロチ地区テレビ放送難視聴解消施設整備事業補助金

消防費

- ・小型動力ポンプ積載車購入事業

まちの話題

話題・出来事などみなさんからの「声」を ☎ 2-1211

永年の功績をたたえて

故久米田鶴夫氏に正六位

永年にわたり佐呂間町議会議員として、地方自治の育成、発展に貢献されました故久米田鶴夫氏に對してこの度、特旨を以て正六位に叙され三月十五日、佐呂間町役場において網走支庁長より遺族の方に伝達されました。

久米氏におかれましては、平成六年春の叙勲において、勲五等瑞宝章を受けておられ、生前の氏のご功績

に對し与えられたものです。



元気で長生きしてください

栄地区で敬老会

三月二十四日、栄公民館で敬老会が行われました。

この日、多数の敬老者が出席し、対象者全員と今回長寿を迎えられた方々に町から記念品が贈られました。

敬老者たちは用意されたご馳走や栄地区の婦人部の方々による趣向を凝らした劇や踊りなどの余興を楽しみました。

今回、次の方々が米寿、金婚式を迎えられました。

米寿祝

大成 山内愛恵さん

啓生 宇佐徳義さん

啓生 武田市郎さん

金婚祝

栃木 三好元久・澄子夫妻



結氷したサロマ湖を爆走

ATVサロマカップ'96

今年も、結氷したサロマ湖を舞台に「オール北海道ATVサロマカップ'96」が三月三日、浜佐呂間漁港特設コースで行われました。

十四回目になる今大会には、道内外から約二百名がエントリーし、スプリント・一時間半耐久レースに挑戦しました。

タイヤを滑らせながらコーナーを高速で曲がるため、勢い余ってコースアウトするバギーが続出。しかし、そんな迫力のあるデッドヒートと爆音に観衆は魅了されていました。



税のポスター展で入賞

佐呂間中の佐々木創くん

「第十回全道中学生の税をテーマとしたポスター」で佐呂間中学校一年佐々木創くんの作品が入賞し、三月五日、同中学校で賞状が伝達されました。

中学生を対象に『税』に対する関心を高めてもらうため北海道が主催しているもので、管内で四百点近くあった応募の中から、北海道納税推進運動網走地方支部長賞（管内で五作品入賞）を受賞しました。

今後も、こういった催しに参加して、絵画の技術を磨くとともに、よ



り一層『税』に対して理解を深めてほしいものです。

交通安全に役立ててください

手作りマスコットの寄贈

「交通安全に役立ててください」と三月十八日、幸町の梶キヨさんから交通安全を祈願した手作りマスコットが町交通安全対策本部に寄贈されました。

ホタテの稚貝の貝殻を使ったマスコット二百個は、町内の新入学児童、保育所、幼稚園の子どもたちに配布されました。

残った分は、今後行う街頭啓発な



どに使われる予定で、サロマの交通事故防止に一役かってくれることと思います。

固定資産課税台帳縦覧について

あなたにかかる固定資産税（土地、家屋など）の課税台帳をみましょう。

- ・期 間 4月1日から4月20日まで
午前8時30分～午後5時
(土・日曜は除く、ただし20日は可)
- ・場 所 役場財政課資産税係

国民年金積立金は町施設の建設に使われています

国民年金の積立金は特別地方債として還元融資され、平成7年度は『佐呂間町簡易水道配水管布設替工事』の事業資金として使われました。

'96オホーツクサイクリング 参加申し込み

開催日程 7月12～14日
参加人数 1,700名
参加費用 15,000円
申込方法

町内からの参加者については一括して申込みますので所定の申込書に参加費を添えて5月2日までに事務局（宮前町 相田孝志宅 ☎2-2033）へ申し込んでください。

※詳しくは、役場総務課（☎2-1211）まで

問い合わせください。



昨年の
オホーツクサイクリングから

お知らせ



募 集

特別養護老人ホーム

代替寮母の募集

特別養護老人ホーム愛の園では、次のとおり代替寮母を募集いたします。

募集人員 若干名

応募資格 年齢六十歳未満の女性

申込先 特別養護老人ホーム愛の園

園

業務内容 入園者介護及び雑用業務

※その他不明な点については、特別養護老人ホーム愛の園（☎二二三〇七六）までお問い合わせください。

標準小作料の

設定について

標準小作料は、三年毎に見直することになっておりますが、平成八年度は次のとおり設定されましたのでお知らせします。

この標準小作料は、賃貸借の契約

小作料の目安となるものです。

今回設定した標準小作料は平成八年度から三年間適用されますので、貸し手、借り手とも充分ご理解とご協力をお願いします。

なお、詳しいことは農業委員会事務局（☎二二二二九〇）へお問い合わせください。

農地の区分		小作料の標準額
田の部	上	二〇、〇〇〇円
	中	一八、〇〇〇
	下	一六、〇〇〇
畑の部	上	一四、〇〇〇
	中	一〇、〇〇〇
	下	七、〇〇〇
下	下	五、〇〇〇
下	下	三、〇〇〇
採草放牧地の部		三、〇〇〇

国民年金

国民年金の保険料が

四月から変わります

国民年金の保険料が、平成八年四月から一万二千三百円になります。

年金を支給するために必要な財源は、加入者の方が納める保険料と国の負担によって賄われています。

国民年金を健全に運営していくための保険料改定ですのでご理解をお

願います。

保険料を前納すると

割り引きされます

保険料の納め忘れをなくす方法として「前納制度」があり、この制度を利用しますと保険料が割り引きされますので納期限毎に納めるよりも安くなります。

一年分前納の納期限は四月末日までとなっていますので、納め方など詳しいことは年金係へおたずねください。

平成七年四月より六ヶ月前納制度も新設されました。

問い合わせ

民生課年金係（☎二二二二三）

国保一口メモ

高額療養費の

自己負担額引き上げ

五月一日から、いままでは一人、一ヶ月、一つの病院・診療所について六万三千円だった高額療養費自己負担限度額が六万三千六百円に引き上げられます。

①月六万三千六百円以上の医療費

（高額療養費）

被保険者や被扶養者が診療を受けて、一人、一ヶ月、一つの病院・診療所に自己負担して支払った医

療費が六万三千六百円（四月三十日まででは六万三千円。また、市町村民税非課税世帯は三万五千四百円）を超えた場合は、その超えた分は全額、高額療養費として国保で負担します。

②同一世帯で年4回以上の特例

ひとつの世帯で、高額療養費に該当する医療費を十二ヶ月の間に四回以上支払った場合は、四回目から、三万七千二百円（市町村民税非課税世帯は二万四千六百円）を超えた額があとから払戻されます。

③世帯合算の場合の特例

ひとつの世帯で、一ヶ月に、三万円（市町村民税非課税世帯は二万一千円）以上の医療費の支払いが二回以上ある場合は、合算して六万三千六百円（四月三十日まででは六万三千円、また、市町村民税非課税世帯は三万五千四百円）を超えた額は全額、あとから払戻されます。

福祉だより

在宅福祉移送サービス

ご利用ください

在宅の高齢者や重度の身体障害者の方に外出の手段を確保し、日常生活の行動範囲の拡大と各種在宅福祉

サービス等の受給を容易にして、在宅福祉の向上を図ることを目的に平成八年度から移送サービスを開始しました。

一、対象者 在宅の高齢者か、重度の身体障害者で、常時寝たきりの者又は、常時移動等に車いすを使用する者

二、用途 ショートステイ利用者、治療のための機能回復訓練又は、病院等へ通院する者で移送を必要とする者

三、運行範囲 佐呂間町内

四、利用料 無料

五、その他 必ず家族が付き添うことを原則とする。

身体障害者のための住宅整備資金を貸付します

身体障害者の障害に適合するよう住宅を増築・改築するために必要な資金を貸付します。

一、対象者

町内に一年以上住み身体障害者本人又は扶養家族が所有する住宅を、障害に適合するよう増改築を必要とする者、整備資金の調達が困難な世帯主に貸付します。

二、貸付金

増改築に必要な工事費の三分の二以内とし、貸付限度は二〇〇万円以内です。

三、貸付の条件

(一)償還期限 八年以内

(据置期間は一年)

(二)利率 三・〇%

(三)保証人 二名必要。

申し込み・問い合わせ

民生課社会係 (☎二二二二三)

犬を飼っている方 登録と予防注射を

◎犬を飼っている方へ

飼い犬は、年に一度狂犬病予防注射を受けなければなりません。また、犬の登録は、これまで毎年の登録でしたが、平成七年四月一日から生涯に一回でよいことになりましたので、まだ登録されていない犬は必ず登録をしてください。四月十日(水)から十三日(土)

まで、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施しますので、必ず受けるようにしてください。(実施場所時間については健康カレンダーに掲載しています。)

◎犬を飼っている方は、次のことを必ず守りましょう。

- ・鑑札と注射済票は、必ず首輪につけておきましょう。
- ・犬は鎖につないで飼うようにし、おりや犬小屋の周りはいつも清潔にしておきましょう。
- ・最近、幌岩ごみ処理場などに犬を捨てていく人がいますが、捨て犬は野犬になり他人や社会に迷惑をかけますので、絶対に捨てることなく、犬を飼えなくなつたときは民生課衛生係(☎二二二三)へ連絡してください。

自衛隊では幹部職員 を募集しています

身分 特別職国家公務員
受付期間 4月20日(土)～5月26日(日)
試験期日 6月下旬
受験資格 日本国籍を有し、平成9年4月1日現在、22歳以上26歳未満で大学卒業程度の学力を有する者(大学院修士課程終了者については28歳未満)
問い合わせ 遠軽町岩見通南3丁目
自衛隊旭川地方連絡部遠軽募集事務所
☎01584-2-6616

愛の「献血」にご協力を

4月30日(火)献血車が巡回します。

場 所	時 間
役 場 前	10:00～11:00
佐呂間農協前	11:10～11:45
若佐小野商店前	13:15～13:35
森永乳業工場前	13:50～14:30
佐呂間営林署前	14:40～15:00
佐呂間高校前	15:10～16:00

労働保険の手続きは正しくお早めに

平成7年度確定保険料 ☐ の申告・納付は
平成8年度概算保険料 ☐ 5月15日まで

事業主のみなさん、今年も労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新の手続きを行なう時期になりました。

この申告・納付の期間は、4月1日から5月15日までです。期限までに銀行・郵便局など最寄りの金融機関または、労働基準監督署を通じて申告・納付してください。

北見労働基準監督署

浜佐呂間出張所

若佐支所

役場総務課住民活動係

価格 一冊 三、五〇〇円

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

尚、頒布予定数が終了した時点で取扱を終わらせていただきますのでご了承ください。

役場 人事

四月一日付

企画課

課長補佐 (財政課長補佐)

主事 伊藤 雅晃

企画係 (道研修派遣)

主事 土門 武史

財政課

財政課長補佐 (教育委員会管理課長補佐兼学校教育係長)

主事 宮崎 祥

町民税係 (新採用)

主事 野村 均

農務課

課長補佐 (農業土木係長)

技師 原 昭広

農政係兼農村計画係 (畜産係)

主事 本田 利明

農業土木係 (新採用)

技師 山田 光利

畜政係 (新採用)

主事 五十嵐 正人

水道課

課長補佐 (企画課長補佐)

主事 川 又則之

教育委員会

管理課主幹兼学校教育係長 (管理課主幹)

主事 浅田 清

社会教育課長補佐 (社会教育係長)

主事 草野 宏繁

社会教育課社会教育係長 (社会体育係長)

主事 大谷 昭文

社会教育課社会体育係長 (管

理課經理係長)

主事 玉井 伸一

管理課經理係長 (民生課付主任 若佐診療所派遣)

主事 林 洋樹

管理課經理係兼総務係兼学校教育係 (管理課經理係兼総務係)

主事 森 智基

民生課

民生課付主任 若佐診療所派遣 (保険係兼衛生係)

主事 高橋 美幸

保険係兼衛生係 (財政課町民税係)

主事 大谷 宏明

総務課

保健婦 (新採用)

技師 荒島 桃子

総務課付 (道研修派遣) (農務課農政係兼農村計画係)

主事 山原 光広

総務課付 (民生課住民係)

主事 渡辺 晴江

建設課

維持車輔係 (新採用)

主事 小松 将史

特別養護老人ホーム

主査 公務補 中南 和子

寮母主査 寮母 水戸 一子

寮母主査 寮母 山崎 信子

寮母 (新採用) 技師補 浅井 修子

調理員 (新採用) 公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

公務補 結城 洋子

退職 (三月三十一日付)

主事 幸松 博義

主事 安藤 雄治

寮母 佐々木 キミ子

公務補 小林 登志子

教職員 人事

小学校

校長

小林 芳明 常呂町川沿小 (若里小)

三浦 英喜 室蘭市母恋小 (仁倉小)

長瀬 勲 北見市北小 (幌岩小)

矢野 聡 網走市潮見小 (浜佐呂間小)

小坂 英勝 北見市東相内小 (知来小)

野村 智康 津別町津別小 (栄小)

原 壽男 留辺蘂町温根湯小 (富武士小)

新山 史賢 生田町安国小 (栄小)

河井 美幸 北見市小泉小 (佐呂間小)

森内 剛 遠軽町東小 (佐呂間小)

木島 富勝 北見市若松小 (佐呂間小)

中谷美和子 美幌町東陽小 (佐呂間小)

藤田 博文 網走市南小 (若佐小)

三浦 夕佳 北見市北小 (浜佐呂間小)

宮本小百合 置戸町勝山小 (富武士小)

阿部 友規 遠軽高校 (若里小)

転入

大和 勝昭 若佐小津別町津別小

野長瀬英勝 若里小 茅戸町勝山小

西田 良弘 仁倉小 常呂町常呂小

小川 昌潤 幌岩小 (中) 同校教頭

教頭

教頭

教頭

教頭

教頭

教頭

高柳 修 浜佐呂間小 (遠軽町南小)

三谷 一行 知来小 (同校教頭)

松田 力 栄小 (北見市東相内小)

棧 雄司 幌岩小 (中) 北見市南中

吉永 泰也 佐呂間小 (斜里町斜里小)

佐々木光弘 佐呂間小 (西興部村西興部小)

和田美千代 佐呂間小 (常呂町富丘小)

中野 順一 若佐小 (白滝村支湯別小)

上島 幸子 若佐小 (雄武町沢木小)

植田 都子 浜佐呂間小 (興部町字津小)

和田 信彦 富武士小 (常呂町川沿小)

上島 裕一 栄小 (雄武町幌内小)

田中麻衣子 佐呂間小 (新採用)

遠藤美由紀 佐呂間小 (新採用)

嶋本 勇 富武士小 (新採用)

裨島 美枝 富武士小 (新採用)

中島佐智恵 富武士小 (新採用)

吉岡 京子 幌岩小 (中) (新採用)

岸 公敏 若里小 (上湧別町開盛小)

伊藤 博昭 若佐小

永田 博 若佐小

浜本 正志 若佐小

木島 智美 富武士小

転入

佐藤 敬司 美幌町田中 (佐呂間中)

石上 陽平 士別市中多寄小 (佐呂間中)

山田 直樹 訓子府町訓子府中 (佐呂間中)

三井 正 訓子府町訓子府中 (若佐中)

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

須田 徹 旭川市永山中 (若佐中)

齋藤 孝雄 美幌町美幌中 (浜佐呂間中)

齋藤 靖恵 美幌町北中 (浜佐呂間中)

遠藤 泰代 置戸町置戸中 (浜佐呂間中)

澤田 英昭 端野町端野中 (幌岩中)

木野 幸江 上湧別町上湧別中 (佐呂間中)

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

転入

わが街の交通安全

新入学児童（園児）を

交通事故から守ろう

毎年四月は、新入学児童が登下校中に交通事故に遭う悲しいニュースをよく耳にします。子どもの行動特性をよく知り、みんなで子どもたちを交通事故から守ってあげましょう。

「家庭では」

☆子どもと一緒に通学路を歩いて、注意しなければならぬ場所をよく教えましょう。
☆雨の日の安全な傘のさし方を教えましょう。

「運転者は」

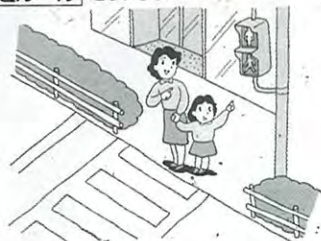
☆雪が解け、路上で遊ぶ子どもが多くなります。飛び出し事故に気をつけましょう。
☆道路の左側に子どもがいたら右側にも注意しましょう。

路上遊戯はしない



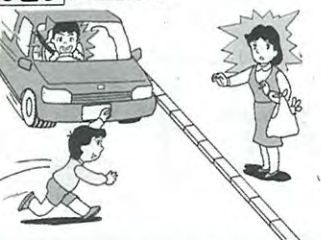
●路上でキャッチボールなどをしていると、夢中になって飛び出したりするので、路上では遊ばない。

交通ルールを教える



●子どもに正しい信号の見方や横断歩道等の渡り方を教え、親が手本を示す。

とび出しに注意する



●道路の向かい側にいる子どもに、声は絶対かけないようにする。



☆子どもの目と運転者の目が合ったら、子どもは必ず横切ってくる予測しましょう。
☆子どもは転びやすいものです。子どもとの間隔を一メートル以上あけて通行しましょう。

交通安全スローガン

運転はゆったりハートにしっかりベルト

▼日時 五月五日（日）
優良講習 午後五時から
▼場所 町民センター
誕生日の四十日前に更新通知書が送られてきますので、内容を確認して、更新の手続きをしてください。（更新手続きの期限は誕生日の一月前から誕生日まで）
更新手続きを済ませた後に、更新時講習を受けることができます。（更新手続きを済ませてからでないと更新時講習は受けられません）
（交通安全協会佐呂間支部）

平成7年度交通安全標語入選作品

とびだすな 自分の命は ひとつだけ
栄小 田 宮 拓 郎
交通事故 ふせげるものだよ 努力して
知来小 林 智 章
いつまでも 初心者気分で スピードダウン！
佐呂間中 石 井 美 和

項目 年度	発生件数		死者数		傷者数	
	8年	7年	8年	7年	8年	7年
町村						
佐呂間町	4	4	0	0	4	5
遠 軽 町	13	18	0	0	15	27
上湧別町	3	5	0	1	3	5
湧 別 町	3	2	0	0	4	3
生田原町	2	0	0	0	2	0
丸瀬布町	3	2	0	0	4	3
白 滝 村	1	2	0	0	1	2
計	29	33	0	1	33	45

※発生件数は人身事故のみの件数です。

遠軽署管内町村別交通事故発生状況

（平成八年二月末現在）

こんにちは。『うの ゆうと』
です。

毎日、長い棒やバット（プラス
チック）を振り回して（将来は野
球選手かな？）遊んでるの。

じいちゃんに、シヨベルの中に
乗せてもらうことが大好きで、音
が聞こえるだけでシヨベルをさが
しだすんだ。早くシヨベルを運転
できるようになれるといいなあー。



西 宮
宇 野 利喜生さん
玉 美さん
男子 優 利くん
平成7年2月21日生



ベビーフェイス

はじめまして。『こおり
さやか』です。3月3日で
1才になりました。

最近、やっと一人で歩け
るようになったので、いつも
お母さんのじゃまばかりし
て困らせています。

私のチャームポイントは、
クルクルパーマのような頭
と、ピューラーをしたようなまつ毛です。

まちで私を見かけたら、いつでも声をか
けてネ。



仁 倉
郡 光 男さん
章 代さん
女子 紗也佳ちゃん
平成7年3月3日生

総合公園 交通公園 がオープンします

サロマ総合公園の開園

（五月一日～十月三十一日）

★ターザンロープ、滑り台等
の遊具施設

★トリムコース（十一ポイント）

★バッテリーカー（午前九時
～午後五時、月曜は休み）

・一回百円で九十秒間

・一人で乗れる子どもで、
小学生までとします。

★バーベキューハウス
（百二十名の利用可）

・午前九時から午後六時ま
で総合公園管理棟（二二
一三四〇）へ申し込み

ください（使用は午前九
時～午後八時）

・焼肉用の網かプレートは
貸出しますが燃料の炭は
各自持参願います。

・使用後は網またはプレッ
トを洗浄し、所定の個所
へ返却してください。ま
た、後始末、火の始末に
は十分気をつけてくださ
い。

みんなの施設ですので大切
にしてください。

交通公園の開園

（五月一日～十月三十一日）

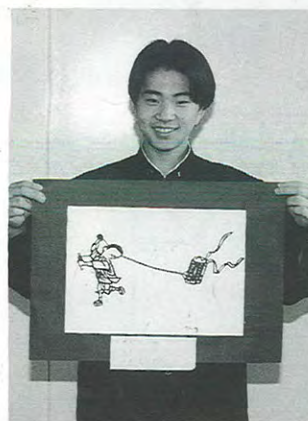
★鉄道記念館（午前九時～午
後五時、月曜は休み）

・展示場の見学は、片平食
道へ申し込んでください
管内を清潔に、また展示物
を壊さないように注意して
ください。



ぼくとわたしの作品

今月は浜佐呂間中学校のみなさんの作品を紹介します。



『切り絵』
細部まで、ていねいに仕上げられた作品です。

一年 夏川 郁夫



『平面構成』
グラデーションの色彩が美しい作品です。

二年 堀米 美久



筆の運びが上手にできています。

一年 菅原 宏太



二文字のバランスが上手にとれています。

一年 竹内 公祐

栄養士 大西 将司



シュウマイ

ヘルシークッキングメモ

【作り方】

- ①エビとホタテは水気をよくふき取りみじん切りにする。レタス、キャベツもみじん切りにし、ぬれ布巾でしぼる。
- ②ボールにひき肉とラード、卵と調味料を入れ、粘りが出るまで混ぜ合わせる。
- ③玉ねぎのみじん切りをボールに取り、でんぷんを入れ（さらったとなる位）軽く混ぜ合わせエビ、レタス、キャベツ、②の材料を平均になるように混ぜ合わせる。
- ④手にシュウマイの皮を取り、③の具をのせ指で丸めて蒸籠に並べ約十分蒸す。

＜材料＞（約七十個分）

豚ひき肉	400g	砂糖	大さじ1
むきエビ	200g	こしょう	適量
ホタテ（むき身）	200g	塩	適量
レタス	300g	シユウマイの皮	70枚
キャベツ	300g	でんぷん	適量
玉ねぎ	200g	卵	2個
ラード	50g		



ありがとうございます

遠軽町 渡部キミエさん

○香典返しを廃して

知来 芹澤 元雄さん

富武士 船木 康男さん

西富谷川 博さん

西富 影山みのるさん

永代町
水野ヤエ子さん

富丘
久保トヨ子さん

富
武
士
つ
く
し
会

オホーツク歌練会サロマ支部

佐呂間分会へ

宮前町
縄
良治さん

《寄付》

西富 影山みのるさん

寄贈

川西 中道 寛雄さん

慰問

佐呂間自治会婦人部

佐呂間町婦人団体連絡協議会

◆町立図書館へ

宮前町
杉本
磐さく

宮前町
中村 誠一さん

宮前町
中村美津子さん

西富 畑尾 孝幸さん

◆啓生老人クラブへ

啓生 今部 好見さん

◆共立老人クラブへ

○全快祝を廃して

共立 長澤 正雄さん



国民年金保険料
(毎月)です

忘れずに納めましょう

— 2 月末現在 —

女 3,838人 (-3)

() 内前月比

♪…真新しいランドセルを背負った新一年生を見かけると、より一層春の訪れを感じます。

しかし、一人で外を歩くのがはじめての子どもたちがほとんどの新一年生。

ドライバーの皆さん、社会に歩き出したばかりの子どもたちを交通事故から守ってあげるためにも、交通ルールを守って運転してください。

♪：みなさんからの身近な話題
・出来事などの情報をお寄せくだ
さい。

五月一日～十月三十一日

往 路				復 路			
停留所名	1 便	2 便	3 便	停留所名	1 便	2 便	3 便
佐 呂 間	6:30	12:45	17:00	浜 佐 呂 間	7:10	13:30	17:50
中 学 校 前	6:31	12:46	17:01	汐 見 町	7:12	13:37	17:52
高 校 前	6:32	12:47	17:02	幌 岩 学 校 前	7:17	13:42	17:57
北 会 館 前	6:35	12:50	17:05	浪 速 小 学 校 前	7:24	13:49	18:04
長 屋 前	6:37	12:52	17:07	サ ロ マ 湖 畔	7:28	13:53	18:08
ト カ ロ チ 入 口	6:42	12:57	17:12	ト カ ロ チ 浜	7:35		
農 協 支 所	6:45	13:00	17:15	富 武 士 浜	7:40	13:55	18:10
三 号 線	6:47	13:02	17:17	保 育 所 前	7:41	13:56	18:11
保 育 所 前	6:49	13:04	17:19	三 号 線	7:43	13:58	18:13
ト カ ロ チ 浜		13:10	17:25	農 協 支 所	7:45	14:00	18:15
富 武 士 浜	6:50	13:15	17:30	ト カ ロ チ 入 口	7:48	14:03	18:18
サ ロ マ 湖 畔	6:50	13:16	17:32	長 屋 前	7:50	14:05	18:20
浪 速 小 学 校 前	6:55	13:18	17:36	北 会 館 前	7:55	14:10	18:25
幌 岩 学 校 前	7:03	13:24	17:43	高 校 前	7:58	14:13	18:28
汐 見 町	7:08	13:28	17:48	中 学 校 前	7:59	14:14	18:29
浜 佐 呂 間	7:10	13:30	17:50	佐 呂 間	8:00	14:15	18:30